

市民のための政務活動費拡大へ

前号でも掲載したように地方自治法の一部改正による政務活動費（政務調査費の範囲の拡大）の使途基準や政務活動費の金額等についての代表者会議での協議がすすめられてきました。全会一致が原則ですすめられていることもあり、各会派の一致点を図るため、3回にわたる協議をくりかえしてきました。

その結果、政務調査費の交付に関する条例（案）の項目では調査研究費、研修費、広報費、広聴費、などを盛り込むことで合意しました。また、人件費（会派が行う活動を補助する職員を雇用する経費）と事務所費（必要な事務所の設置、管理に要する経費）については、盛り込まないことになりました（共産党と政策会議が項目の除外を主張）。なお、使途基準の明細については今後も協議する予定です。

定数削減案が大会派から出される

2月5日に開かれた議会運営委員会において大会派から議員定数を削減する案が示されました。「飛翔」から30人「政策会議」から28人の案。合併時に約半減させたことで市民からは「議員の姿が見えなくなった」という声が上がっています。削減は、議会自らのチェック機能を弱めることになり、認められません。

議会全体視察に行きました

（取手市、越谷市）

費用は
700万円

2月1日、議会全体で取手市議会で「電子評決」を。越谷市では「参考人制度の活用」と「議会の災害対策」を研修してきました。

透明性を確保し市民の合意を

この協議の中で日本共産党議員団は、さらに透明性を高めること、市民の合意を得るためアンケートやパブリックコメントを実施すること、活動費の内容を市民に現在よりも詳しく公開するなどを要望・提案しました。なお、政務活動費の調査は、市の監査委員と外部の委員（会計士など）により行い、今までより客観性、透明性を高めることになりました。

また、政務活動費の金額については、使途基準の拡大に伴ってこれまで月1人当たり月2万円だったものを、飛翔が月4万円、政策会議3万、公明党4万円、共産党は従来と同額の2万円を当初主張しましたが、最終的には3万円を透明性や公開をしつかりすることと併せて主張しました。全会派の一致では3万円とすることで合意となりました。

生活保護基準の引き下げはしないで
広範な市民生活にも影響が！

生活保護基準の引き下げをしないことを求める意見書

安倍内閣は2013年度政府予算案を1月29日に閣議決定し、その中で生活保護費について3年連続で大幅に引き下げることとしました。これは生活保護費受給者の暮らしに直接打撃を与えるだけでなく、最低賃金や地方税の非課税基準、就学援助の給付対象基準などに連動します。このため国民生活にも大きな影響を及ぼし、とりわけ困窮する低所得者の負担が増大することになります。

生活保護基準の引下げの中心は、日常生活になくてはならない食費や光熱費などの「生活扶助費」です。いまでも受給者は食費などをぎりぎりに抑え切り詰めた生活を続けています。生活保護基準は憲法25条が保障する「健康で文化的な最低限度の生活」の基準であり、利用者の生活水準をさらに低下させ、人間らしく生きる権利を奪うことにもつながります。

今回の生活保護費のうち、食費など生活費に使う「生活扶助費」を今年8月から段階的に減らし、2015年度以降、支給額を740億円削減しようとしています。削減幅は7・3%。生活扶助の基準額を6・5%引き下げることによって670億円、年末に支給される「期末一時扶助」を70億円削減する予定です。厚生労働省によると受給世帯の96%で基準額が減る見通しで、とくに子育て世帯に大きな打撃となります。以上のことから下記の点を求めます。

1、生活保護基準の引き下げをしないこと。

以上地方自治法99条の規定により意見書を提出する。

久喜市議会

やったァ
川内選手
自己最高タイム

強行日程の中、優勝した川内選手

別府大分毎日マラソンは3日、大分市高崎山うみたまご前から大分市宮陸上競技場までの42・195キロで行われ、公務員ランナーの川内優輝（25）＝埼玉県庁＝がロンドン五輪代表の中本健太郎（30）＝安川電機＝との競り合いを制し、2時間8分15秒の大会新記録で優勝しました。（久喜市・鷲宮在住）

一般質問を通告しました

渡辺まよよ

3月1日
3番目

① 保育園の保護者の育休時の園児の対応について

保育園に子どもを預けている保護者が、第二子以降で育休を取った時に園児は保育園を止めなければならぬ。そのまま預けられるように改善し子育てしやすい久喜市を目指すべきである。

② 要介護認定者すべてに障害者控除対象者認定書を自動的に発行すること

③ さくら保育園の新園舎の設計建設の進捗状況について

④ 市営釣り場の改善について

久喜市営釣り場の経営状態は年々悪化している。この現状をどう捉えているか。利用客の減少対策について指定管理者との協議はどのように進めているか。外網の修繕、堰にある網の修繕、ブルーギル(魚の名前)駆除をしつかりおこなうべき

⑤ 清久工業団地周辺地区の開発について

地元住民に対する公害についてどのように考えているか。
この周辺は水害に悩まされる地域である。対策はどのように考えているか。



清久大池の市営釣り場
魚が釣れなくなっている

木村ともい

2月28日
2番目

① 社会保障と税の「一体改革」と生活保護制度の後退について

生活保護制度の見直しによる生活扶助、医療扶助の削減
生活保護の給付費減による最低賃金制度、就学援助への影響
削減による市の影響額と市独自の補助創設を

② 原発事故後の対応と再生可能なエネルギー政策を

これまで要求してきた食材検査、通学路測定、除染基準
原発をストップさせる自治体方針の確立を
再生可能なエネルギー政策の方針と計画を

③ 市内公園整備と管理運営について

公園の県内の整備状況との比較は整備拡充に向けての計画は公園の植栽、遊具などの管理基準は

④ 生活関連道路の整備と側溝の拡充を

生活関連道路の計画整備状況は側溝整備やふたかけを



植栽が繁茂しすぎて照明を隠している古久喜公園

石田としはる

3月1日
2番目

① 南栗橋液状化被害、復興に向けた取り組みについて

◆ 地盤の液状化対策が進まない中、固定資産税の減免は継続が必要
◆ 再液状化防止対策を前に進めるには宅地地権者へ更なる支援が必要と考える

② 爆弾低気圧による大雪が降った。久喜市の除雪対策は

◆ 道路が凍結し危険箇所が多くみられ、転倒するなどの事故があいついだ。機敏な除雪と除雪箇所を大幅に増やすべきと考える。市の対策は

③ 久喜市公共交通、再編に向け利便性向上に向けた取り組みについて

◆ デマンドバスの運行で、病院などエリア外への運行を実施している事例がある。久喜市も検討すべき

④ 日光街道宿場町「栗橋宿」を活かしたまち興しについて

⑤ 県立小児医療センターが新都心へ移転する。現在地に残す機能について久喜市の対応は



『栗橋関所』模型・郷土資料館
(資料館は鷺宮図書館の2階にあります)

杉野おさむ

2月28日
4番目

① 学校給食について・アレルギー児童生徒の「誤食」による事故防止を

◆ 小中学校でのアレルギーを持つ児童生徒の実態把握を正確に

◆ 「誤食防止」の手立てを など

② 学校教育における「体罰」防止について

◆ 「体罰」に対する認識を

◆ 勉強、生活指導、部活すべての分野での体罰禁止の徹底を など

③ 久喜市でも住宅リフォーム助成制度制定を

◆ 本制度は「地域おこし」の効果大
◆ 他市での経済効果などの実績をどう評価するか など

④ 鷺宮地域の大雨水害対策推進を

◆ 鷺宮団地での冠水部分は「導水路」で青毛堀川に「落とし込み」をできないか

⑤ 検診車での放射線使用について
◆ 診療放射線の取り扱い実態について明らかに

◆ ガン検診車には「医師の同乗」が必要ではないか など



ゲリラ豪雨といわれる大雨で一帯が冠水したわしみや団地の2街区